

## カリキュラムポリシー（学科別）

### 看護学科

看護学科においては、教育課程を教養科目、看護基幹科目、看護展開科目の3分野に大別し、学年進行とともに、体系的に学習できる編成とする

- (1) 教養科目は、幅広い視野で体系的に学識を吸収し、豊かな人間性を涵養するとともに人間として必要な思考力と感性を備えることができる授業科目とする。博愛精神・人間愛を有することは、本学の目標とする人材養成においての基盤であると考え、教養科目においては、人間の尊厳や人間を取り巻く社会環境について学修するとともに他者とのコミュニケーションを円滑に行うための技術を教育する。
- (2) 看護基幹科目は、看護専門職として必要な基礎的知識・技術を修得することができる授業科目とする。幅広い知識を身につけることは、多角的な視点を持ち専門知識・技術を応用できると考え、看護基幹科目においては、医学、福祉学、法学、経済学、情報学等の専門知識に関連した様々な分野の知識を教育する。
- (3) 看護展開科目は、看護専門職として必要な専門的知識・技術及び他職種と連携し、社会の要請に応えるために必要な応用力を修得できる授業科目とする。さらに、教養科目及び看護基幹科目で修得したことを踏まえて、将来看護の専門性を高めるために必要な総合的な判断力や自ら研究するための基本的能力を修得できる授業科目とする。また、新たな価値を創造する能力を身につけるには、専門知識・技術を深め、さらにそれら専門知識・技術とそれら以外の知識を統合する必要があると考え、看護展開科目においては、基礎から応用までの看護知識・技術を深く教育し、さらに最終段階として4年次にそれらを統合する能力を身につけさせるための科目を配置する。

### リハビリテーション学科

本学の教育理念に基づき高い教養をもった専門職を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成している。

1. 4年間の修得科目において、1年次では基礎学力、専門基礎教育に力を入れている。また人間性、マナーを含めたコミュニケーション能力の育成をめざす。さらに2年次では、専門基礎科目に加え、専門基礎科目を基盤とした上で、より高い専門性や応用力を身につけるための専門科目の学習に力を入れている。教育指導は、担任制、チューター制を導入し個別指導を主体に行なう。
2. 3、4年次では大学生にふさわしい学士力と実技技能を含めた専門的能力を高める。

### 子ども教育学科

教育課程を「基礎教養科目」「専門基礎科目」「専門発展科目」の3群で構成し、体系的な学修、専門的な技術の修得を図る。

- ・「基礎教養科目」は、人間力の育成を中心とした、大学での学びの基礎となる授業科目とする。
- ・「専門基礎科目」は、教育・保育を専門とする基礎的な知識や技能を修得する授業科目とする。
- ・「専門発展科目」は、教育・保育の高度な知識や技能を修得する授業科目とする。

とりわけ、ケアすることの重要性を教育・保育の専門性において学び、専門的資質や能力、実践力を養成する。さらに、特別な支援を必要とする子どもへの理解やかかわり方について学ぶ。